

CORPORATE PROFILE

商号 株式会社 アイエフ物流サービス

所在地 【本社】[埼玉営業所][第1工場](中間処理施設)
〒344-0014 埼玉県春日部市豊野町二丁目19番地1
TEL:048-731-1000 FAX:048-731-1110

【第二工場】(中間処理施設)
〒344-0014 埼玉県春日部市豊野町二丁目32番地18

【千葉営業所】
〒290-0166 千葉県市原市犬成1058番地4
TEL:0436-40-5771 FAX:0436-40-5772

設立 平成8年3月

資本金 5,000万円

従業員数 120名

代表者 代表取締役 佐藤 公紀

事業内容 一般貨物自動車運送事業／産業廃棄物中間処分業／
産業廃棄物収集運搬業

主な取引先 株式会社飯田産業/アイディホーム株式会社/
株式会社オープンハウス・アーキテクト/
株式会社エステーホーム/株式会社ケーズホールディングス/
イオンディライト株式会社/
イオンディライトコネクト株式会社/家電量販店/
ハウスメーカー/電気設備工場業/倉庫物流業/官公庁 他
※敬称略

取引銀行 栃木銀行／千葉銀行／足利銀行／京葉銀行／
武蔵野銀行／商工組合中央金庫

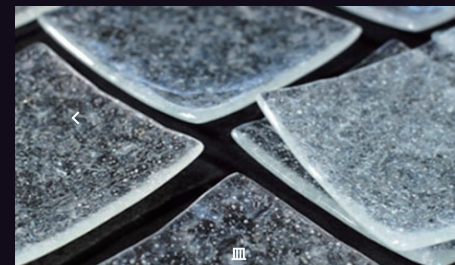
設備 車両(ドラレコ搭載、デジタコ管理)、フォークリフト、
中間処理施設/破砕機、圧縮機、圧縮成形機、
破碎・減容機、水銀回収装置、HDD破壊機



SDGsな取り組み

ガラス製品・ガラス工芸品

弊社にて適正に中間処理を行なった後の蛍光灯ガラスの一部は、埼玉県南埼玉郡宮代町にある『リトルヒーターガラススタジオ』工芸作家つかむらごう様とのコラボレーションにより、蛍光灯ガラスの特性を生かしたガラス製品に生まれ変わります。キルンワークスで焼成した蛍光灯のガラスは、透明と白濁のバランス、所々に入る金銀のグリッター色、白くぼんやり光るような蓄光感等、工業用ガラス素材では得られない独特な模様と色合いが特徴です。



皿



椀



長方形皿

制作協力

リトルヒーターガラススタジオ
<https://www.littleheater.com/>

REVERSLOGISTICS&DISPOSAL

CORPORATE PROFILE



Our mission for the earth

産業廃棄物の収集運搬と中間処分のプロフェッショナル

LOGISTICS 産業廃棄物の収集運搬

産業廃棄物の収集運搬

1都6県11品目の許可を保有。様々な産業廃棄物を小型トラックから大型トラックにてお客様の排出状況に応じ、収集運搬から処分までをワンストップサービスにて最適なお提案をします。

家電リサイクルの収集運搬

独自のリサイクル券管理システムにて確実な処理と情報の一元管理を実現。リサイクル券の紛失や欠損、返却漏れ、家電4品目の不一致等のトラブルをなくし、収集運搬の状況を正確に把握します。

産業廃棄物の積替え保管

一次電池やがれき類、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くずの積替え保管施設を設置。他の廃棄物に混ざってしまったがれきなどを適正に処理する処分業者様へ確実に運搬します。

RECYCLE 産業廃棄物のリサイクル

蛍光灯のリサイクル

蛍光灯の確実な水銀回収技術は、環境負荷低減とリサイクル率向上のポイントです。当社では蛍光灯の破砕機を整備し、使用済み蛍光灯の適正処理とリサイクルを実施。ガラス・プラスチック・金属・水銀のリサイクル率は95%。

発泡スチロールのリサイクル

一定の大きさに破砕し、減容施設で圧縮形成。電気熱を使用せず摩擦熱で処理するため臭いや煙を発生させない環境負荷の少ない処理方法で100%原料としてリサイクルします。

廃プラ・金属・紙くずのリサイクル

廃プラスチック、金属くず、紙くずを人の手により選別。そのまま材料として利用できるものは圧縮処理を行います。カロリーの高い廃プラスチックについては、固形燃料としてバイオマス発電の燃料へとリサイクルします。

木くずのリサイクル

新築、解体時に発生する木くずはバイオマス発電の燃料、パーティクルボードの原料として環境負荷の少ない次世代エネルギーとしてリサイクルされます。

CONSULTANT コンサルタント



長年の知識と経験及び信頼で築き上げたネットワークを駆使し、弊社で取り扱いできない廃棄物や、全国照明改修工事などに伴う蛍光灯を含めた廃棄物の収集運搬から処分までを、スムーズにマッチングします。御社の「産廃担当者」としてお気軽にお問い合わせください。

SDGs 持続可能な社会への取り組み



多様な人材活用

性別、障害、国籍、宗教などによる差別を禁止し、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めます。

環境配慮型サービス・製品の提供

持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。

コンプライアンス

強固なコンプライアンス体制の構築と意識の醸成を図ります。

社会課題解決に資する商品・サービス開発

SDGsの目的と自社事業のつながりに関して理解を深め、製品・サービスの開発に取り組みます。



JQA-EM6304
本社・埼玉営業所・第1工場
一般貨物自動車運送事業
産業廃棄物処理業

